

レポート 東構協

1994年(平成6年)

新春号
[第2号]

発行 東京鉄構工業協同組合
〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSBビル6階
TEL 03 (5566) 1 5 9 5
FAX 03 (5566) 1 5 9 7



全構連関東支部の不況突破大会・会場風景(群馬会館)



年頭のごあいさつ

理事長 金子 升一

組合員の皆様、1994年の新年を迎えまして、おめでとうございます。

年頭にあって、あらためて申すまでもなく、我々を取り巻く環境は非常に厳しい状態が続いております。今次の不況は、かつての石油ショック時のものとは質を異にしており、これまで経験したことのない時代に突入したのではないかと考えられます。

こうしたなか、我々鉄骨ファブ

リケーター業界は工場認定制度が社会的に認知される一方で、品質管理に対する要求も今まで以上に強く、鉄骨製作管理技術者制度も大臣認定を受けた今日、鉄骨の製作管理体制が重要なポイントとなってきました。

東構協の組合員におかれましては各種資格者の不足が目立っているのが実情でありまして、このために本年は様々な勉強会を通じて、資格取得はもちろん、組合員

の活発な交流を図り、不況に対して体力を強化(知識防衛)していくことを組合運営の基本方針としていく所存です。

仕事量や受注単価の問題で頭の中が一杯かとは思われますが、組合活動の一層の充実、発展のためご指導、ご協力をお願い致します次第です。

各位のご健闘をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。
(那須ストラクチャー工業(株)専務)

全構連関東支部が“不況突破大会”を挙行

副理事長(経営対策委員長) 中川 弘喜

昨年12月16日、群馬県前橋市の群馬会館で、全構連関東支部の「不況突破大会」が行われた。

東構協から80名を超える参加協力を得て、総員900名近い関東支部員が集結したことは、今我々が置かれている経済環境がいかに厳しい状況にあるかを物語っている。

大会の様子などについては、鋼構造ジャーナルに詳しく報じられているので省略するとして、まず各都県の代表者による状況報告を2、3拾ってみると……

①鉄骨需要が40%以上激減している。価格も最盛期の半分となっている状況下で、7割操業の具体的な生産調整の検討が必要ではないか。

②建設業法第19条の3(不当に低い請負代金の禁止)の遵守を要望する。

③品質確保のための物件報告制度を徹底し、連帯意識の高揚と熱意努力が必要。

④現在の受注価格は品質確保を満たすにはほど遠い。適正価格を遵守すると共に分離発注の推進を図ろう、等であった。

バブルと称される最大級の好景気から20年前の不況時の価格にゆり戻され、正に両極端にさらされている苦悩がにじみ出ていたと言える。

これから全構連の各支部で同種の大会が開かれると予想されるが、大会が単なる大会だけに終わらず、大会宣言文に沿って具体的



実現に向け、これからどのように実行して行くかが問題である。

これらの実行については、構成員全員の積極的な協力が望まれるところです。

大会終了後、帰途のバスに我々幹事も同乗した。久しぶりに80数名の組合員の方々に接する機会を得て、車内で数多くの意見を聞き、質問を受けることができた。

一通りの説明を行いながら、構成員との互いの交流が必要であることを改めて痛感した次第です。

苦難の時、今こそ英知を絞って頑張っていきたい。一層のご協力をお願い致します。(川岸工業(株)常務)



◀ 東京からも多数参加

▼ ハチマキ姿で決意も新た



▶ 冬木 関東支部長



▲ 2階も満席に



▲ 大久保全構連会長ら来賓



▲ 控室で

〈93年度 検査パトロール報告〉

松本 英一 (東地区長)



東構協・東地区では、本年度第1回目の検査パトロールを9月下旬から11月中旬にかけて、25工場（プラス1分工場）について実施しました。

管理図書の記録作成状況につい

ては、製作要領書の承認印が相変わらず少ないことが残念ですが、検査制度実施要綱に規定する検査対象工事は、ほぼ全工事作成されている模様です。工程中の検査記録は、グレードにかかわらず難題となっており、検査成績書への記入を省略できる項目についての実施記録を、いかに作成保管するか試行錯誤の連続で、未だ決め手がないと言うのが実情の様です。

超音波検査は徹底されてきており、かなりの小規模工場でも実施

し記録が保管されていることには感激を覚えました。また、検査計画書・報告書は、一部の工場を除き作成保管されており、おおむね満足できる状況になっています。

この不況のためか、工場内製作状況を確認する事が困難な程、製作中の加工物が少ない現状の中、今回のパトロールを通じての印象は、それぞれの工場なりに大変な努力をされているということでした。

(松本工業(株)社長)

武本 侃 (南地区長)



全構連検査パトロールと東構協工場巡回を開始して1年半が経過しました。計3回の実務を担当された地区長と技術委員の皆様、本当にご苦労様でした。次回工場巡回でもよろしく願います。

本年度に実施した感想は、全般的には予想に反し円滑かつ協力的に実施できたということです。グレード別には、H＝検査記録等は工事ごとに完備されており、対物的に整合性がある、信頼性も高い。省略検討要す。M＝検査記録等は工事ごとに整理されているが、客先承認印のない部分があり、検査計画書作成の実践と合わせての努力が必要である。R＝検査制度について理解が不足しており、かなりの学習が必要と考え

られる。また、グレード内におけるレベル差も予想以上に大きい。以上が理事会へ報告されています。

第8次認定規定・基準の改訂を踏まえ、巡回報告書を修正して次のパトロールを実施しますが、調査に際して、資料の整備と巡回報告書の事前記入の実行を組合員の皆様にお願いと共、認定工場として社会的な信頼性の確立を目指して、自助努力されることを要請致します。

(株)飯田製作所社長)

松田 清明 (西地区長)



平成5年度1回目の検査パトロールは、11月19日に終了致しました。続いて5年度2回目の検査パトロールを3月末までに実施致す予定です。西地区の会員の皆様には、厳しい状況のところ何かとご迷

惑をおかけ致すことと存じますが、よろしく受入れをお願いします。

各工場を巡回してみて感じたことは、全体として品質の向上を目指した努力がたゆまず着実に続けられているということです。ただ個々の工場ごとでは、バラツキがあります。昨今の経済情勢下では、その努力が遅れているからといって責めるわけにもまいりません。全構連のグレードを維持するかどうか、アップを図るのか、ダウンしてもやむを得ないのか、それぞ

れの企業自身の判断であり、責任であるからです。

過去3回の検査パトロールを実施しましたが、あと1～2回実施した段階で、地区のパトロール委員で各々の工場の相対評価をしてみたいと思っております。

地区の皆様、意見でも相談でも何でもかまいませんので、地区長または近くの理事、技術委員までお寄せ下されれば幸いです。

(松田鋼業(株)社長)

木崎 康允 (北地区長)

平成4年度から検査パトロール

が発足以来、私は巡回者の1人として北地区を仰せつかりました。組合員の皆様方には、何かとお世

話になり、また、ご協力を頂き感謝しています。ブロックにより多少特性があるかも知れませんが、



感想を述べさせていただきます。

今まで3回巡回してまいりましたが、その効果は上がっていると思います。同じグレードでも企業によってレベル差があり、難しい問題も含まれていますが、検査制

度についてかなり理解が深まり、全体的に良い方向に向かっていると考えられます。

しかしながら、検査制度そのものや、記録方法がわからないなど、まだまだ努力して欲しい企業があることも事実です。関連業界紙や講習会、説明会等で、かなり沢山の情報源がある割にはキャッチされていない様に思われます。今一度新しい情報で見直す必要がある

のではないのでしょうか。

平成6年度より第8次認定が始まりますが、今まで以上に検査記録の質と量が評価される様です。ここでもう一度、自社の要領書、規準等を見直し、それを基に更に充実した管理がなされ、裏づけとして記録が作成保管されることが何より大切なのではないのでしょうか。

(株)コバ建常務

(業界を取り巻く環境と今後の課題)

理事長 金子 升一

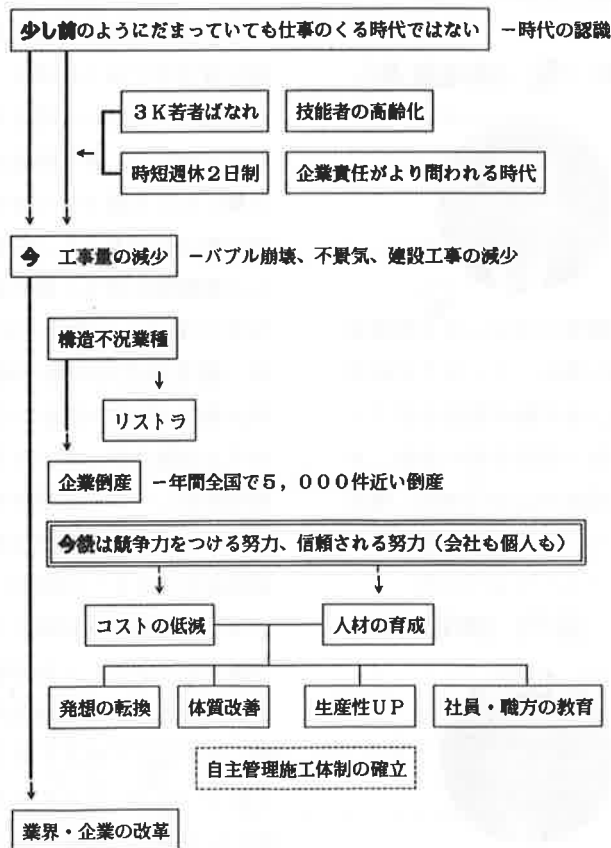
現在の不況は、我々鉄骨業界のみならず、身近な色々な業種においても同様の不況風が吹き荒れております。

少し前までのように、黙っていても仕事が入ってくる時代ではもはやなく、これまでの概念では通じない時代に突入したと言っても過言ではありません。

会社、個人を問わず、これからは、競争力をつける努力と信頼される努力を間断なく続けていく必要性に迫られているのです。コスト低減や人材の育成は必要欠くべからざる条件であることは申すまでもありません。

冒頭にも述べましたように、鉄骨の品質に対する要求は一段と強まっており、そのためには自主管理施工体制の確立が急がれるところではあります。

業界、各企業の未来を切り開いていくには、今我々は何をなすべきか、各種の組合活動を通じて、真剣に議論を行い、解決の糸口を全員で見いだしていきたいものです。



新事務局長に福島氏

93年10月1日付けで就任。

法務省営繕課に約10年勤務した後、65年川崎製鉄入社。当時、建築鉄骨に使用され始めたH形鋼の普及に主に技術面から尽力。87年から川鉄建材工業。



「チャンスは自分で作り、そして責任を持って」がモットー。東京都中野区出身、63歳。

全構連第8次認定規定・基準の改正について

昨年10月26日の全構連理事会において、第8次認定規定・基準の改正案が報告審議された。基準については、日本建築センターの評定を経て、平成6年2月の理事会に上程し承認決定する。現時点における改正の主な点は次の通り。

I 認定規程の主な改正点。

①Jグレードの統合により1分類増えて4分類になる。Jグレードの大臣認定は、8次認定規程基準による評定実績を積んだ上で具体化。早く2年後位になるのではないか。

Jグレードのイメージは①3階以下の建築物（延べ面積500㎡、軒高9m以下のもの）については、完備した設計図書に沿い、JASS6に示されたレベルの品質の鉄骨が製作できる態勢を整えている。②溶接工作を伴う主要な部材においては、400N級の鋼材を適正に取り扱うことができる態勢を整えている。

②評定平準化の推進のため、従来各都道府県鉄構組合会長名で委嘱していた審査委員を、各組合会長の推せんに基づき全構連会長の委嘱とした。中央審査委員会と都道府県審査委員会とした。

③認定工場の義務として、製作実績、従業員数、資本金、その他の報告が新たに義務づけられた。

④新たに監査の項が設けられた。第26条に基づく指導監督の結果、監査を行うことができ、認定途中においてグレードを変更することができるようになった。

II 認定基準(案)の主な改正点。

基本的方針は、(1)鉄骨製作管理技術者等、全構連が実施する資格を重視する。(2)ハード面規制の緩和。(3)ソフト面評価をより厳しくきめ細かく見直した。概要は④管理技術者の評価を上記方針に基づき配点、評価点、必須条件、要望条件に変更が行われた。⑤ハード面では、契約電力の項でデマンド計や省エネ設備を設置した場合の取扱基準を定め、CAD/CAMの普及を考慮し、現寸場面積としての必須点を設定せず、十分な現寸機能を有すれば良いこととした。また工場従業員数は、正社員について6ヶ月以上勤務していることを条件とし、年間製作実績について、「原則として全構連検査制度実施要綱に基づいた検査計画書、検査報告書（組合会長にも提出する）

が作成保管されている物件に限る」の一文が追記された。⑥ソフト面では、ヒューマンな思考が導入された。即ちイ、品質管理等について、経営者管理者等の項目で特によい所はボーナス点を、また製作技術についても、ライン途中で検査体制が組み込まれている等品質証明に対する姿勢の良いところにはボーナス点を加える評価思考が導入され、4段階評価する項目と3段階評価が適切な項目に分けた。ロ、評価項目を従来の6区分から、総合管理、製作技術、製作状況、作業環境、品質確保の間接要因の5区分に整理統合。

なお、全構連検査制度実施要綱で定める検査記録関係の評価は、「製作技術」にまとめ、「製作状況（いわゆる対物審査）はグレードに関係なく絶対評価とする。（例えばボルト穴径等）ハ、作業環境は、HはHなりのものと相対評価とする。安全対策は重要な項目であり、特によい所はボーナス点で評価する。

以上が主な改正点である。

（事務局長 福島建二）

＜新規組合員紹介 東構協メンバー130社に＞

（新規組合員）平成5年度

会社名	代表者名	〒	所在地	電 F A 話 X	資本金 (万)	年能力 トン	認定関係 グレード	所 属 グループ
小沢鉄工建設(株)	小沢 一行	193	東京都八王子市檜原町1064	0426-23-1405 0426-25-7951	600	800	未	西
(有)城所鉄建工業	城所 勇	123	東京都足立区西新井7-14-8	03-3896-0596 03-3856-0202	500	800	未	南
安田工業(株)	安田 久雄	136	東京都江東区北砂7-5-14	03-3648-8877 03-3648-8878	100	600	未	南
(有)橋本鉄工	橋本 明	190-12	東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷539-6	0425-56-2518 0425-56-1395	100	1,200	未	西
(株)日政	曾田 政至	123	東京都足立区興野2-31-4	03-3890-2084 03-3890-2602	1,000	1,000	未	南
(有)小林鉄工	小林 憲夫	193	東京都八王子市台町4-7-6	0426-25-0079 0427-84-7328	1,000	1,500	未	西
(有)平川鉄工所	平川 和行	136 273	東京都江東区亀戸2-24-5 千葉県船橋市潮見町35-7	03-3637-7530 0474-31-1435 切 換 え	300	850	未	東
(株)向山鉄工	其田 敏政	183	東京都府中市四谷4-31	0423-63-8127 0423-65-9811	2,000	500	未 ^(C)	西
(株)角鹿鉄工	角鹿 茂	340 120	埼玉県八潮市大宮根1244-1 東京都足立区西綾瀬2-22-25	0484-96-0481 0489-96-3995 03-3889-9939 03-3880-4705	400	960	未 ^(C)	西
(有)天野鉄工所	天野 幸美	191	東京都日野市栄町2-30-8	0425-81-4838 0425-82-1531	500	1,100	未 ^(C)	西

※退会 (株)ホシカメ 星亀賢一

《平成6年度^{技術教育}事業活動》

副理事長 奥田 隆



政府が製造物責任法の制定に取り組む方針を固めたことが全国紙に報道されましたが、製造者の社会責任が具体的な数値となって顕在化してくるのも近い将来に迫ってきました。全構連が推進している検査制度を企業防衛の有効な手

段として、更なる活用を要請するものであります。

東構協の技術教育事業委員会では、品質と同時に適正価格の確保を目標として活動しております。

具体的には、パトロールによる組合員の指術レベルの向上であり、各種講習会の開催による技術者の育成と確保であります。また、技術者が組織内で有効に機能すべき教育も必要と考えております。平成5年度事業は地区長、

委員各位の積極的な活動で順調に推移しつつあります。

現在、平成6年度事業について検討中で、第8次認定規定・基準改正版の周知徹底、鉄骨製作管理技術者と検査技術者、クレーン運転と玉掛技能なども含めて活動を考えております。

時下、深刻な不況の最中ではありますが、組合員の皆様の積極的な参加と協力をお願いします。

(叶産業(株)会長)

[年間主要スケジュール(予定)]

- | | | | |
|-----------------------|------------|---------------------|------|
| 1月・新年会(1月25日)…東構協 | ・WES受験者講習会 | 習 | …全構連 |
| ・93年度第2回認定工場検査パトロール開始 | …東構協 | 9月・鉄骨検査技術者実技講習・試験開始 | …全構連 |
| ・鹿島技研見学会 | …東構協 | ・UT資格受験者講習 | |
| 2月・鉄骨製作管理技術者試験合格者発表 | …全構連 | ・ミルシートアテスター講習会 | …東構協 |
| ・鉄骨検査技術者試験合格者発表 | …全構連 | 7月・鉄骨検査技術者学科試験 | |
| ・UT資格受験者講習会 | …東構協 | ・新規工場認定申請者説明会 | …東構協 |
| (N.D.I) | | 8月・第8次第1回工場認定申請受付開始 | …東構協 |
| 3月・鉄骨検査技術者継続資格者講習会 | …全構連 | ・94年度認定工場検査パトロール開始 | …東構協 |
| 5月・通常総会 26日鉄鋼会館 | …東構協 | ・鉄骨製作管理技術者試験申込締切 | …全構連 |
| 6月・第8次第1回工場認定関係説明会 | …東構協 | ・鉄骨製作管理技術者更新講習 | |
| | | 9月・鉄骨検査技術者実技講習・試験開始 | …全構連 |
| | | ・UT資格受験者講習 | |
| | | 10月・鉄骨製作管理技術者受験者講習会 | …東構協 |
| | | ・WES受験者講習会 | …東構協 |
| | | 鉄骨製作管理技術者試験 | …全構連 |
| | | ・新規工場認定申請者工場調査説明会 | …東構協 |
| | | ・認定工場実態調査 | …東構協 |
| | | 11月・建築工事施工計画の報告等講習会 | …東構協 |

青経委 ヤマウラ工場見学報告

小橋 健一郎

青年経営者委員会は、昨年10月1、2日に19名の参加者を得て、長野県駒ヶ根市にある「(株)ヤマウラ」の工場見学会を常務取締役山浦恭民氏らの案内により行った。

同社は、大正9年創業。建設など3事業部から成り、従業員300名、年商200億円。

鉄骨部門は、全構連のMグレードとして、エンジニアリング事業

部で行っているが、全体からの割合は数%という事である。

今回は、いつもの設備中心の工場見学とは趣が違い、管理システム・人的資産の活用に重点を置いた見学となった。各支店単位の管理体制、机の高さまで考えたオフィスレイアウト、会議室から望む中央アルプス、完備された社員寮等々、人的資産の重要性を、見せ

つけられた感があった。

又、同社が設計・施工・運営を行っている「駒ヶ根高原美術館」も見学、ここでも同社の考え方の一端に触れたような気がした。

今回の見学会は、かねてより故新井前事務局長のご尽力によるところが大きく、改めて新井氏に感謝すると共に、御冥福をお祈りします。(小橋鉄工所(株)常務)

「欧州視察旅行記」 副理事長 辻川 幸四郎



昨年9月12日から22日までの11日間、日本溶接協会東京都第一支部の欧州産業視察団（団長・金子升一支部長）に参加、英、独、伊、仏の4ヵ国を訪問しました。

12、13日にロンドン市内を見学、14日にはドイツのハノーバーに移動し、国際工作機械見本市（EMO）を視察。工作機械全般が展示される同見本市は、37ヵ国、1963社（日本から63社）が出展、その

規模の大きさに驚かされた。15日にはエッセンの第13回国際溶接展示会へ。4年に1回開催される世界最大の溶接展示会で、39カ国、800社が出展。今回、環境や安全に関するものが初めて出展されていたのが目を引いた。翌日はアウトバーンをバスで走り、ケルン大聖堂、ライン川古城を訪れた。

17日は古都・ローマとバチカ



↑ I.S.で記念スナップ

ン、19日にパリのラ・ディファンス地区の再開発地区を訪れる。翌20日には今回の視察旅行の大きな目的の一つ、フランス溶接協会（I.S.）の訪問視察を行った。

I.S.は公益団体で、国内に本部と13のセンターを持ち、従業員は約500名。教育育成、技術検査、研究開発が事業の3本柱。本部内の諸施設を見学後、意見交換など交流促進を図った。

パリ市内見学後、全員無事に帰国、非常に有意義な視察旅行であった。

（㈱辻川鉄工所社長）

スタントカイト

小林 一弥

「スタントカイト」。最近、海岸や河原で見かける様になった米国生まれの風。2本のラインでコントロールされるカイトを初めて見た人は、誰もがそのスピード（ギネス記録173km）、パワー（大型のカイトは体重80kgの私を数mから数十mも引きずる）、そして何よ



左端が本人

りも大空を自由に飛び回る美しさに魅了される。

私とカイトの出会いは92年9月のサンフランシスコで衝動買いをしたのが始まり。以来、病みつきになり、現在4人でチームフライトを楽しみ、関東地区のコンテストに出場出来るレベルになった。一見単純に見える操作。ところがゴルフ同様奥が深い。カイトのシングル級になるためには、月2〜3回の練習で数年はかかる。カイトは、チューニングとテクニックで風速0m/secからフライト可能。つまり体育館の中でも上げられる。

次に素材。ロッド（骨）は一般にはカーボン、安いカイト（2万

趣味 拝見

円前後）にはグラスファイバー、高級品にはボロンと、まるでゴルフクラブである。セイルはパラセイルの生地と同じリップストップナイロンで、非常に丈夫なナイロンを使用する。

以上が「スタントカイト」の概要です。休日に海岸・河原で奥様とペアーフライト、あるいは家族でチームフライトを楽しみながらのバーベキュー、気分転換には最高の一日になるでしょう。大空を自然の力（風）で自由に飛ばす……「スタントカイト」を始めてみては如何ですか。（弥生建設工業㈱常務）

編集後記

※干支は巡って戌年、近年のペットブームの中でもイヌこそはヒーロー（ヒロイン）。但し、逞しいノラ犬やシバ犬の類は少なくなり、専ら手乗りの室内犬が目につきます。これも品質保証時代の品質（種）改良の成果でしょうか。

※小生の手元に干支一巡り昔の昭和57年1月20日付「東京鉄構会報」があります。その紙面の大半を割いて新春座談会の模様が載っております。要点は“技術と品質”で、社会に貢献しよう。課題は品質管理の徹底となっている。これこそ現在も変わらぬ主要テーマであります。出席者は、北後先生をはじめ

め12名。そのうち現在も組合にてご活躍の方は僅か3名のみ。これは諸々の意味で正に変わる時代を映しているのかも知れません。※時代が変わり人が変わっても、我々ファブ業界の使命は基本的に変わっておらず、これを追求することが改めて厳しい新年の課題ではないでしょうか。（M・Y）

東京鉄構工業協同組合 賛助会員

登録 No	会 社 名	〒	本 社 ・ 所 在 地	T E L	取 扱 主 商 品
			東京都内営業所所在地		
01	大日本塗料(株)	144	東京都大田区蒲田5-13-23 蒲田シティビル	03-5710-4501	塗料全般
02	大同生命保険相互会社	101	東京都千代田区神田司町2-6	03-3258-6200	生命保険
03	(株)長谷川パイプ商会	279	千葉県浦安市港31	0473-54-7131	鋼管、軽形、H型、 一般鋼材
04	エヌケーケー トレーディング(株)	104 104	東京都中央区日本橋久松町4-4(糸重ビル内)	03-3660-1561 03-3660-1561	鋼材全般、エクセル ビーム
05	野水鉄興(株)	101	東京都千代田区神田西福田町3	03-3256-0271	一般鋼材、非鉄化成品
06	本多酸素(株)	133 340	東京都江戸川区北小岩2-33-19 千葉県八潮市大字木曾根字下1218-1	03-3658-2121 0489-95-9151	高圧ガス、溶接材料
07	(株)東京ネジ製作所	124	東京都葛飾区西新小岩5-3-18	03-3696-6661	高張力ボルト他
08	東京インスペクション(株)	112	東京都文京区本駒込5-73-3 駒込SKビル	03-3946-8867 048-822-6116	非破壊検査
09	(株)茗和検査	276	千葉県八千代市上高野1082	0474-85-8990	非破壊検査
10	成田計量検査(株)	286 -02	千葉県印旛郡富里町七栄108-8	0476-92-7200	非破壊検査
11	東日本工業検査(株)	263	千葉県千葉市稲毛区長沼町247-45	043-286-1173	非破壊検査
12	(株)ヤマヤ技研	300 -11	茨城県稲敷郡河見町荒川本郷 1371-17	0298-42-7557	非破壊検査
13	関東システム工業(株)	175	東京都板橋区成増3-29-8	03-3976-0825	変圧器類、省エネパッ ク装置(指月)
14	ニチコン(株)東京支店	604 143	京都府京都市中京区御池通烏丸東入 上原ビル3F 東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル5F	075-231-8461 03-5493-3611	力率改善装置、 各種コンデンサ
15	愛知産業(株)	141	東京都品川区北品川5-5-12	03-3447-0201	各種溶接機器、溶接用 ワイヤー他、溶接関連機器他
16	(株)鈴木商館	102	東京都千代田区麴町3-1	03-3265-5221	高圧ガス、容器、空調機器、 メカトロ機器、産業機械、工業
17	丸越機工(株)	144	東京都大田区新蒲田3-15-21	03-3737-0651	機械工具、溶接機材、測定 機器、荷役機器、日立ハイベス
18	(株)ダイヘン東京支社	150	東京都渋谷区広尾5-4-12	03-3444-0261	溶接機器及び同省エネ装置、 溶接ロボット、炭酸ガスレー ザー加工装置
19	カネマス(有)	659	兵庫県芦屋市浜風町5-5	0791-31-1733	鉄構工業用安全皮手袋
20	協和溶材(株)	105	東京都港区芝3-22-11	03-3451-2597	溶材、高圧ガス、検査器具類
21	(株)ドッドウエル ビー・エム・エス	104	東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル	03-3561-9331	S/F、マスターV、ライナー、ジュ ニア、他コンピューター関連機器
22	松下電器産業(株) 東部FA営業所	105 105	東京都港区芝大門1-1-30	03-3438-5067	溶接装置、機器、各種 ロボット
23	石原薬品(株) 東京支店	652 114	兵庫県神戸市兵庫区西柳原町5-26 東京都北区田端新町3-16-4	078-681-4801 03-3810-1621	スパッター付着防止剤 (ユニコン・ノン・スパッター)
24	ダイニッカ(株) 東京支店	104	東京都中央区八丁堀1-9-5	03-3552-3151	建築汎用、重防塗料一般、塗装、 防水、建物リフォーム、家具、イ ンテリア商品、化学品、作業服
25	アメリカンファミリー 生命保険会社神田支社	101	東京都千代田区神田須田町1-1 三井協和ビル8F	03-3258-7871	がん保険、介護年金保 険、医療保険
26	富士見興業(株)	166	東京都杉並区高円寺南1-27-11	03-3314-5712	溶接材料、工具、鉄骨加工 省力機械、産業機械、産業 設備機械、各種高圧ガス
27	ダイヤスティール(株)	103	東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-5 浜町中ノ橋ビル	03-3639-3421	ベース・バック、一般 鋼材
28	A I U 保険会社 青林保険事務所	110	東京都台東区東上野3-18-7 東京建物ビル3F	03-3839-7216	損害保険商品
29	(株)小の鉄	168 193	東京都杉並区下高井戸2-1-7 ロノプラザ202 東京都八王子市犬目町745	03-3322-5101 0426-54-2611	一般鋼材、コラムH加 工販売、住宅機器全般
30	大新技研(株)	859-32 141	長崎県佐世保市広田4-5-5 東京都品川区東五反田1-21-9 ウイスタリア東五反田ビル3F	0956-39-1201 03-5423-5161	CAD/CAMエンジニアリ ング、ANS、MR鉄骨、 D-CADPRO & Bridge